水平線について

トレードを開始するときは、まず水平線を必ず引くようにしましょう。

水平線は単純にその日の高値、安値に水平線を引くだけですから
何ら難しいことはありません。

次のチャートはゴールドです。
古いチャートですみません・

まずは画像の黄色いマル囲み①をご覧ください。

午後８時ごろからチャートを開いて相場の監視をはじめたとします。

そのとき、いろいろな相場状況をみることと思いますが、まずはその日の高値、安値に
水平線を引きます。

それが画像の②の部分です。

この日は午後６時ごろにいったんの高値をつけていますが、この②で引いた黄色の水平線がその後のトレードにとって大切になってきます。

そして次の画像「水平線画像２」ですが、午後１０時にかけて再上昇していますが
このときは、午後６時の高値にひいた水平線あたりでぴたりと止められています。

これを越えるとさらに伸びたりするのですが、このように前回の高値で止められるというようなことが毎日起きているのです。

ですから、この高値近辺ではエントリーしないというのが鉄則です。

もっと安いところでエントリーして、この高値水平線まで来たらそこで決済するというのは「あり」というか、それは「ふつう」です。

もし上に抜けた場合も、この水平線まで戻ってくるのを待ってそこでエントリーしたほうが無難です。

レジサポ逆転ってやつですね。

抜けたところで飛びつくとそこが高値になったりして、大きな含み損を抱えることになる

し、それでもまた上昇してくれればいいのですが、上抜けは「だまし」であって、あとは下落するだけということもありえます。

たとえば一日に平均して２００pips くらい動いているとして、その日はまだ８０pips しか動いていないというような状況でしたら、この高値をさらに上に抜けていく確率は高いでしょうが、その日のボラをほとんど使い果たしているような場合はもう上はあまり期待しないほうが無難です。

それとあとは時間ですね。
東京時間はどうしてもパワー不足でどんどん高値や安値を更新することは少なく、
むしろ東京時間でつけた高値や安値を欧州時間や NY 時間の相場参加者の多い時間帯に抜いていくことが多いようです。

ここでは高値の例をあげていますが、安値でも同様です。

トレードを開始するときには必ずその日の高値・安値に水平線を引くことをお忘れなく。